

### 1 事業名

暖簾や幟旗などを活かしたまちづくり  
－ 着なくなった着物や端切れなどの利用

### 2 事業概要

歴史的な意味のある草津宿周辺の景観に着なくなった着物を利用して色どりを添え、にぎやかな空間が生まれるような実証実験を行った。  
一定期間制作物を展示し、評価調査によりその効果を検証した。

### 3 事業内容

※欄が不足する場合は、別紙（A4版縦型）を追加してください。

社会実験の必要性
実際に空間に設置することで、草津宿周辺の景観デザインとして望ましいかどうかの検証が必要である。
実施場所
くさつ夢本陣および草津宿街道交流館
実施方法
実物大の制作物を作製し、展示し、地域住民及び来訪者に評価調査を行った。 また、相乗効果を得るために演習課題の成果物の展示及びアンケートによる意見収集を行った。
実施内容
デザイン素案 草津市商工観光労政課への説明 くさつ夢本陣利用のため 第2次案 UDCBKにて地域住民対象のプレゼンテーション 1月25日～2月13日 くさつ夢本陣で制作物の展示と評価調査 同時開催で草津宿街道交流館で滋賀県立大学生生活デザイン学科演習課題 「草津市草津宿本陣周辺に賑わいを表現する」の成果物を展示し、意見収集。
効果測定の指標等測定方法
評価調査は、紙面によるアンケート調査及び google フォームを利用した Web アンケート調査を併用して行った。
対象者や人数
くさつ夢本陣では地域住民及び来訪者を対象とし、12件の回答を得た。 草津宿街道交流館では、6件の意見を得た。

実施のための費用

展示物作製、展示のための費用および交通費 149,000 円

実現のための課題

地域住民の協力を得ること

新旧住民の意見の反映

※文章を補うために、写真、イラスト、イメージ図を使用することができます。(カラー可)

#### 4 事業のねらい、目標に対する到達度の自己評価

ねらい、目標

暖簾や幟旗の他、布を使ってまちに色どりをもたせるとともに、過去に使われたものへの愛着を感じてもらえるような取り組みとした。  
今回の、提案によって美しい景観づくりや古い文化を見直すきっかけとすることを目的とした。

到達度の自己評価

リサイクル着物を利用した景観デザインについては、一定の評価が得られた。  
しかし、地域住民とのコミュニケーション不足から、十分な提案ができていないと考えられる。

※文章を補うために、写真、イラスト、イメージ図を使用することができます。(カラー可)

#### 5 草津市が支援した事項

今回の事業実施にあたり、草津市に依頼した事項について○をつけてください。

- (  ) アーバンデザインセンターびわこ・くさつを研究拠点として提供
- (  ) 草津市の公共施設の先行予約、施設および附属設備の使用料の減免
- (  ) 公共施設へのチラシおよびポスターの設置依頼
- (  ) 市ホームページ、UDCBKのFacebookでの事業の周知
- (  ) その他 ※具体的に記載してください

〔 展示空間として夢本陣の使用を許可 担当 草津市商工観光労政課 〕

#### 6 事業の実施期間

令和3年7月1日 ～ 令和4年2月26日